

… 子どもたちの夢やアイデアが、港北区の明日を変えるかも！…

今年もまちづくりをテーマに応募し、1316通の作文が寄せられました。(小学生978通・中学生338通)
その作文の中から、ユニークなアイデアで選ばれた16名の児童・生徒たちが自分の思いを作文発表して伝え討議し、小川 浩之 港北区長に伝える会議です。

8月23日(金)午後1時から港北公会堂ホールで開催されました。

今年のテーマは、港北区のまちをもっと良くするために

- ① 学校と地域が協力してできること ② 自分が地域に協力してできること

どちらかのテーマを選択して、作文にしてもらいました。多数の作文の中から小学校長会、中学校長会教育委員会指導主事等の審査員の方々が、小中学生会議に出席していただく16名のみなさんを選考。夢職人として今回参加いただきました。



港北公会堂の横断幕



参加した児童生徒のみなさん



区長より夢職人の称号認定を受ける



保護者の方々が様子を参観



小川 浩之 港北区長挨拶



宮部 一 北部学校教育事務所長挨拶



それぞれの発表に耳を傾ける児童生徒



自分の考えと参加者の考えに聞き入る



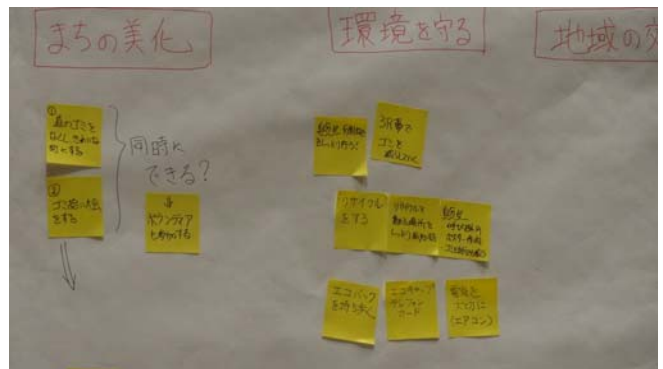
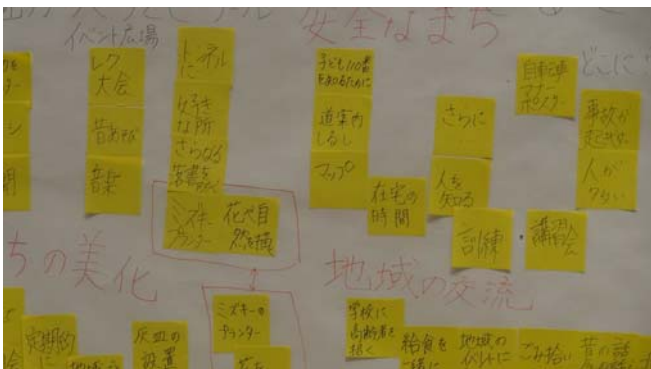
「学校と地域が協力してできること」について



「自分が地域に協力してできること」について



二つのテーマをグループ別に話し合う



子どもたちからいろいろと意見が出されたことを模造紙に記入して展示



話し合ったことをまとめて 区長に提案



二つのテーマ別に提案がしっかりなされた。



小中学生会議内容を丁寧に講評された

㊦ 樽町中学校 村上 博史校長 と ㊦ 伊藤 智樹 教育委員会指導主事



提案後、小川区長・丸山副区長と懇談会



港北区の良さや港北区の自慢を子どもたちに質問



16人の夢職人受賞者と小川区長・丸山副区長

平成25年度「ふるさと港北小中学生会議」提案のまとめ

～港北区のまちをもっと良くするために～

A: 学校と地域が協力してできること

- ① 港北区の魅力をPRするため、好きな場所や風景を描いたポスターや新聞などを作る。
- ② 人が集まるイベント広場で音楽会などの発表を行い、にぎわいをつくる。
- ③ トンネルに落書きをされないように、素敵な絵を描く。
- ④ 町がきれいになるよう、ミズキーのプランターやごみ箱を作る。
- ⑤ 学校行事として、地域と協力して定期的にごみ拾いをする。
- ⑥ 子ども110番の家と交通危険場所が載った安心・安全マップを作り、回覧板などで知らせる。
- ⑦ 子ども110番の家に駆け込む訓練を、地域と協力して行う。
- ⑧ 自転車マナーポスターを描き、事故が起きやすい場所など地域に貼る。
- ⑨ 地域のお年寄りを学校行事に招待する。戦争体験・昔遊び・囲碁将棋などを教えてもらう。介護施設を訪問する。
- ⑩ 学校の校庭や体育館を使って、幼稚園児や保育園児と交流する。

B: 自分が地域に協力してできること(児童・生徒への呼びかけ)

- ① ごみのポイ捨てをやめよう。
- ② 地域のごみ拾い活動に参加しよう。
- ③ 3Rに取り組み、資源を大切にしよう。
- ④ 自分から地域の人にあいさつをしよう。
- ⑤ 防災訓練や地域の行事に参加しよう。
- ⑥ お年寄りに親切にしよう。
- ⑦ 介護施設やイベントでお年寄りとふれ合おう。

C: その他

- ① 保育園や幼稚園にお年寄りを招待する。
- ② 子育て中のお母さんとお年寄りが交流する場を設ける。